

令和4年度 学生支援事業活動報告書

1 活動名 地域・団体等と連携したボランティア活動

2 指導教員：ヒューマンケアリングセンター長・教授 村田 由香
参加学生：1年生33名、2年生33名、3年生12名、4年生5名

3 要旨

ヒューマンケアリングセンターが廿日市市内の市民団体等と連携することにより、学生がボランティア活動を行っている。この活動用ユニフォームを支給するなど、学生の活動を支援した。また、活動後は、学生は学びや気づきなどをGoogleformsを活用して報告できるように体制を整えた。

以下に、ボランティア参加事業、参加者数及び学生の報告の要約を記載する。

- (1) 令和4年6月26日 阿品台ウォーキング&宝探し 2名
阿品台コミュニティ主催、地域の参加者の血圧測定などの健康チェックのボランティアを実施した。2.5kmのコースを参加者と一緒にウォーキングする途中では、参加者の体調を伺うなど阿品台の地域住民との交流を深めることができた。
- (2) 7月3日 認知症になっても安らぎのある廿日市市をつくる市民の会 2名
スマートフォンの操作を学ぶための研修会にて通信障害が発生する中、他大学高等学校の学生とともに研修会に参加した方々のサポートを行った。「一緒に操作して役に立てたことがうれしかった」など実感が持てた。
- (3) 8月～9月 おりづるプロジェクト 24名
日本赤十字社広島県支部が主催された100万羽おりづるプロジェクト、8月から9月にかけて、イベント前に低学年が作成したおりづるの折り直しや何キロもおりづるをつなげていく作業を実施するボランティアに参加した。ひとりの力は小さいが、たくさんの力が集まると大きなものとなることを実感できた。
- (4) 9月23日 障害子どもまつり 7名
発表会に参加する車いすやバギーの子どもたちの安全を確保するための誘導を行った。障がいがある子どもたちが自分より幼い子に気遣う様子などを目の当たりにし、思いやりの大切さを学んだ。
- (5) 10月29日 阿品地区防災訓練 5名
阿品地区コミュニティをすすめる会が主催し、3年振りに開催された。地域の方に対し、一次救命処置をデモンストレーションし、処置の方法を学んでいただく補助をした。
- (6) 11月5日 防災ツアーボランティア 4名
四季が丘地区コミュニティづくり協議会主催で防災訓練が行われた。応急手当のブースを担当し救急法の復習にもなり、自分なりにレベルアップも感じられた。
- (7) 11月6日 あいプラザまつり 24名
廿日市市主催のまつりが3年振りに開催された。医師会をはじめ18団体が健康に関するブースを出展し、学生はブースの補助や受付などを担当した。学生からは、健康のことだけではなく、育児相談、歯科相談、子供から大人まで誰もが楽しめるようなニュースポーツといった様々な企画があり運営側から地域の方々と触れ合えたので楽しみながら参加できた。
- (8) 11月6日 スペシャルオリम्ピックス日本夏季ナショナルゲーム 5名
知的障害がある方のオリम्ピックスのバスケット部門に参加した。全員自ら積極的に行動されていて障害の有無に関係なくスポーツは楽しめるものだと感じた。
- (9) 11月6日 認知症カフェ n-cafe ひまわりボランティア 6名
廿日市野村病院のデイケアサービスでイベントの手伝いなどを行った。初めてボランティアに参加した学生は、次は自主的に話しかけていこうと決めていた。
- (10) 11月27日 宮ぞの防災フェス 4名
宮園自主防災会が主催する防災訓練が行われた。大規模災害を想定し、宮園小学校に集合し、自ら何かできることはないかと運営側に尋ね、主体的に小さな子どもたちに応急手当の方法を教えるなど活動した。